

4月実施

フロン類年次報告 簡易マニュアル(PC業者版)



フロン類年次報告とは？

法令により、フロン類回収業者の皆様が事業所ごとに（事業者ごとではありません！）1年に1度必ず行わなくてはならない報告のことです。毎年4月1日から4月30日の間に、前年度（前年4月1日～当年3月31日）の実績について報告を行ないます。地球温暖化防止のため、フロン類の適正な回収/処理/報告を行っていただくことが必要です！

※報告内容は「引渡量」「再利用率」「保管量」のみです！

前年度にフロン類の取扱い実績がなかったら？

カンタン！

実績がなくても報告は行わなくてはなりません。その場合は、「引渡量」、「再利用率」、「保管量」の3つの報告事項にそれぞれ、「0. 0kg」と入力をしてください。

報告は「使用済自動車の再資源化等に関する法律施行規則第87条」による義務であり、報告を行わない場合、自治体からの勧告・行政処分を受けることがあります！

報告について

報告は簡単に行うことができます。ここからは報告に必要な作業を順番にご紹介します。自動車リサイクルシステムのホームページ(<http://www.jars.gr.jp>)から「事業者向け」→「フロン類回収業者」→「電子マニフェストシステム」とそれぞれ該当個所をクリックし、ログイン画面を表示させます。

1 ログイン

電子マニフェストシステムにログインします。

事業者登録完了時に送付された「システム登録完了通知書」に記載されている①事業所コード（「フロン類回収業者」としてのコードで、末尾が「03」で終わる12桁の数字です）と②パスワードをそれぞれ入力し、**ログイン**をクリックします。

情報管理センターシステム - Microsoft Internet Explorer

自動車リサイクルシステム

2007/12/12 14:07:54

フロン類回収工程 >
メニュー選択 (JPRS2000)

業務終了 画面印刷 ヘルプ

フロン類年次報告が未実施です。

自社情報

事業所コード 333033303303 事業者/事業所名 (詳細) 品川解体工業 (株) 品川工場

1. 電子マニフェストによる移動報告

1.1 引取報告 使用済自動車の引取報告

中略

2007年度の移動報告実施状況は、92%です。 また、都度入力の実施状況は、100%です。
フロン類については、メーカー等への引渡報告、または、再利用連絡を忘れずにお願いします。

3. フロン類年次報告

3.1 フロン類年次報告 フロン類年次報告
フロン類年次報告を忘れずに報告してください。

4. 取り扱った車台に関連する情報の閲覧

ログイン後、表示された画面の

3.1 フロン類年次報告

をクリックしてください。

※ 報告が行われるまで赤字でメッセージが表示されます。メッセージを確認した場合は必ず報告を行ってください。

メニュー選択画面で「3.1 フロン類年次報告」をクリックすると、「報告年度の選択」の画面が表示されます。

情報管理センターシステム - Microsoft Internet Explorer

自動車リサイクルシステム

2007/12/12 14:10:05

フロン類回収工程 > フロン類年次報告 >
報告年度の選択 (JPRS2600)

メニューに戻る

4/1~4/30の期間は、前年度の報告内容を変更することが可能です。
5/1以降に変更する際は、年次報告が既に完了していますので、いったん取消してから再報告してください。

1. 報告実施事業者 (自社) 情報

事業所コード 333033303303 事業者/事業所名 (詳細) 品川解体工業 (株) 品川工場

2. フロン類年次報告の対象年度選択

報告対象年度	報告状況	報告選択
2006年度分	未実施	選択
2005年度分	済	選択

メニューに戻る

報告を行う年度を確認し、報告する年度の

選択

をクリックします。

※このとき、前々年度(古い方の年度)分のフロン類年次報告が行われていないと**前年度分の報告ができません**ので、前々年度分の報告が「済」になっていない事業所の方は、はじめに「**前々年度分**」のフロン類年次報告を行ってから、「前年度分」の報告を行ってください。

報告期限の4月30日を過ぎてもフロン類年次報告が行われない場合は、その旨の連絡が情報管理センターより管轄の自治体へと報告されます！

前年度にフロン類の再利用を行った事業者の方へ

再利用を行ってない方は不要です！



フロン類年次報告の数値を確定する前に

忘れていませんか？

正しい報告を行うために、前年度にフロンの再利用を行った場合はフロン類年次報告をする前に「**再利用連絡**」について確認してください。

フロン類移動報告実施状況の確認

メニュー選択画面に表示される《貴社のフロン類移動報告実施状況のお知らせ》にある「移動報告実施状況」の数値を確認してください。

★ 実施状況の値が低い場合は、再利用連絡等が漏れている可能性がありますので、以下の手順で作業を行い確認してください。

再利用連絡画面の確認

報告画面左下にある（4ページ掲載イメージ参照）

再利用連絡画面へ

ここでは車台と報告年度を確認し、報告対象年度分の連絡忘れがあった場合は、以下の手順で作業を行い**再利用連絡を行ってください。**

をクリックすると、「フロン類再利用車台の連絡」のうち「対象車台の選択」画面が表示されます。

1. 「2. 引取報告済車台の一覧」において、報告対象年度分で連絡を忘れていた車台を確認します。
2. 「報告年度」欄で連絡する車台の年度を「▼」ボタンをクリックして選択します。
※通常は今年度を表示していますので、報告忘れがあった場合は昨年度へ変更します。
3. 「再利用対象選択」欄で連絡する車台をクリックして選択します。
4. **確定** ボタンをクリックした後、新たに表示されるメッセージの **OK** ボタンをクリックすると作業終了です。

※これで、「フロン類年次報告」で報告する「自ら再利用した量」のもととなる**再利用連絡済の車台数が確定**しました！ 4ページに進み「フロン類年次報告」を行ってください。

年度を選択すると新しく報告画面が表示されますので、フロン類の取扱実績についての報告を行います。以下の入力例にしたがって、入力をすすめてください。

情報管理センターシステム - Microsoft Internet Explorer

2007/12/12 14:11:28

自動車リサイクルシステム

フロン類回収工程 > フロン類年次報告 > 情報管理センターへの報告 (JPRS2601)

メニューに戻る

2006年度分のフロン類再利用等に関する報告

報告日: 2007/04/17 (注)対象年度の再利用車台

1. 対象期間
対象期間: 2006/04/01 ~ 2007/03/31 (2006年度)

2. 報告事業者情報
事業所コード: 333033303303 事業者/事業所名: 品川解体工業 (株) 品川工場 取扱フロン類種別: CFC/HFC

3. 自動車メーカー等に引き渡した量
参考値は3月末時点の移動報告状況をもとに表示しています (その後移動報告等の修正を行っても、参考値には反映されません) ※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

(参考) 自動車メーカー等による引取量			自動車メーカー等への引渡量		
フロン類種別小計		合計	フロン類種別小計		合計
CFC	HFC		CFC	HFC	
1773.2 kg	834.0 kg	2607.2 kg	1773.2 kg	834.0 kg	2607.2 kg

4. 自ら再利用した量
参考値は3月末時点の移動報告状況をもとに表示しています (その後移動報告等の修正を行っても、参考値には反映されません) ※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

(参考) 再利用連絡済車台数			フロン類再利用量		
フロン類種別小計		合計	フロン類種別小計		合計
CFC	HFC		CFC	HFC	
98 台	0 台	98 台	48.4 kg	0.0 kg	48.4 kg

5. 前年度の3月31日現在で保管していた量
参考値は3月末時点の移動報告状況をもとに表示しています (その後移動報告等の修正を行っても、参考値には反映されません) ※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

(参考) 保管車台数			フロン類保管量		
フロン類種別小計		合計	フロン類種別小計		合計
CFC	HFC		CFC	HFC	
35 台	16 台	51 台	15.8 kg	7.6 kg	23.4 kg

メニューに戻る 再利用連絡画面へ センターへ報告

ページが表示されました

A 自動車メーカー等に引き渡した量の入力

前年度においてメーカー等（メーカー指定引取場所）に引き渡したフロン類の量を入力してください。

単位は **kg** で小数点以下第1位まで入力します。

入力欄左側には、参考情報としてメーカー等による引取量が表示されています。通常であれば表示されている数値と同じ数値になりますが、もし、各事業所で把握されている数値が異なる場合は、その数値を入力してください。

B 自ら再利用した量の入力

各事業所で把握しているフロン類再利用量を入力してください。
単位は **kg** で小数点以下第1位まで入力します。

入力欄左側には、参考情報として、再利用連絡が行われた車台数が表示されていますので、報告値の妥当性を確認するためにご覧ください。

C 前年度末に保管していた量の入力

各事業所で把握している年度末（3月31日）時点でのフロン類保管量を入力してください。
単位は **kg** で小数点以下第1位まで入力します。

入力欄左側には、参考情報として、保管車台数が表示されていますので、報告値の妥当性を確認するためにご覧ください。

D 「引渡さる」・「再利用量」・「保管量」の合計の表示

それぞれの報告項目にある

計算

をクリックすると、各項目の合計が表示されます。

★ 注意事項

要注意！



もし前年度に実績がなかったら？

実績がなくても報告は行わなくてはなりません。その場合は、「引渡量」、「再利用量」、「保管量」の3つの報告事項にそれぞれ、「0. 0kg」と入力してください。

※小数点以下第1位までを入力しないとエラーになります。

もしエラーになったら？

入力に不備がある場合は、エラー個所が **ピンク** 色で表示されます。その場合は必要事項を正しく入力しなおしてください。

! 使用済自動車以外から回収したフロン類（整備・修理時に回収したもの）は年次報告の対象外です。

5 センターへの報告

※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

合計	フロン類再利用率		計算
	CFC	HFC	
0 台	48.4 kg	0.0 kg	

※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

合計	フロン類保管量		計算	合計
	CFC	HFC		
341 台	15.8 kg	7.6 kg		23.4 kg

センターへ報告

E

センターへ報告

をクリックすると、新たに確認のメッセージが表示されますので

OK

をクリックします。

以上でフロン類年次報告が完了しました。

ご不明な点がございましたら、6ページの「よくあるご質問」をご覧ください。

ログインに必要な「事業所コード」と「パスワード」がわかりません。

自動車リサイクルシステムに事業者登録をした際に右のような「システム登録完了通知書（フロン類回収業者事業所用）」を送付していますので、お手元の資料をご確認ください。

紛失された場合は「自動車リサイクルシステム事業者情報登録センター（050-3786-8822）」へお問い合わせください。

システム登録完了通知書（フロン類回収業者事業所用）

【事業所情報】	登録種別：変更	登録・変更・削除有効日：2004年9月15日
申込日：2004年9月15日	登録・変更・削除申請者	業者共通受付窓口
事業所名	テスト用_自動車リサイクルシステム運用委員会_自動車資源回収協力機構	
(社)	テスト用_自動車リサイクルシステム運用委員会_自動車資源回収協力機構	
所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30日本目黒平会館16階	
(社)	トウキョウトミナトタシバタイモン1-1-30ニッポンジダンシャカイカン16号イ	
変更・削除理由	電話番号：03-5405-6150	
【システム登録区分情報】	事業所コード	100323300103
パスワード	27c2gdcf	
登録ステータス	：未登録	
登録・変更・削除有効日：2004年9月15日	申込日：2004年9月15日	登録・変更・削除申請者：業者共通受付窓口
変更・削除理由		
自治体登録・許可番号(特付法)	00000000000	自治体登録・許可日(特付法)：2005年1月1日
自治体登録番号(特付法)		自治体登録日(特付法)：年 月 日
自動車リサイクル法	管理用	
担当部署名		
(社)	カンパ	
自動車リサイクル法	システム担当	
担当者	システム担当	
(社)	システム担当	
	電話番号：03-5405-6150	FAX番号：03-5405-6117
Eメール	testtest@jarjarp.org	
移動報告制御手段	：通常	
移動報告に使用するFAX番号		
業者情報公開可否(0:否,1:可)	：否	

年次報告が出来ないのですが？

電子マニフェストシステムの受付時間（7:00～21:00）外ではありませんか？

誤った報告をしてしまったのですが修正は可能ですか？

- ・ 報告期間内（4/1～4/30）であれば修正可能です。
- ・ 再度、同じ手順にて報告画面を表示させ、誤った数値を消したうえで正しい数値を入力し、報告を完了させることで修正作業が終了します。
- ・ また、翌月中であれば一旦「取消作業」を行い再度報告することで、修正が可能となりますが、報告の際は細心の注意を払うようにしてください。
※取消作業の詳細は「パソコンを利用した移動報告詳細マニュアル（フロン類回収工程編）」の118ページをご参照ください。

再利用量はどのように把握すればよいですか？

- ・ 日頃からご自身で計測し、台帳等で再利用量を管理しておくことが重要です。

ご不明な点が
ございましたら・・・



自動車リサイクルシステムコンタクトセンター



050-3786-7755

平日 / 8:30～20:00
土日・祝日 / 9:00～18:00

までお問い合わせください